



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

令和4年度当初予算案

Kanagawa Prefectural Government

「いのち」と「暮らし」を守り、新しい日常へ

- 医療提供体制の維持と経済の回復に向けた支援
- コロナ禍で顕在化した新たな課題への対応
- 県民生活に直結する事業の推進と
緊急対応を要するインフラ整備の加速化

令和4年度一般会計当初予算額

2兆3,448億円
(過去最大)

令和4年度当初予算案のポイント

新型コロナウイルス感染症への対応

3,912億9,899万円

医療提供体制の維持

- ① ワクチン接種の促進
- ② 病床確保2,800床（陽性患者、疑いのある患者向け）
- ③ 宿泊療養施設の運営（約3,800室を確保） 等

経済の回復に向けた支援

- ① ビジネスモデル転換事業に対する補助
- ② 制度融資枠2,600億円の確保や信用保証料引下げに対する補助
- ③ キャッシュレス決済時のポイント還元や県内旅行の割引等による需要喚起 等

2

新たな課題等への対応

当初予算額

生活困窮者対策の更なる推進

[3当比+3.9億円]

6.9億円

- 子ども、女性、孤独・孤立に陥っている方への支援
 - ・ 子ども食堂への支援など、「公助」による取組
 - ・ SDGsを道しるべとした「共助」の推進

医療的ケア児等への支援

[3当比+0.9億円]

1.6億円

- かながわ医療的ケア児支援センター（仮称）の設置
- 県立特別支援学校における対応
 - ・ 看護師の増員
 - ・ 通学支援の試行

3

新たな課題等への対応

当初予算額

脱炭素社会の実現に向けた取組 [3当比+9.6億円]

12.4億円

- 太陽光・EVの
トータルでの普及策
- 脱炭素化戦略の策定



私立高等学校等学費補助の充実 [3当比皆増]

2.6億円
(拡充分)

【現状】

【4年度】

- ▶ 年収約700万円未満世帯の授業料実質無償化
- ▶ **多子世帯**は年収約**800万円**未満まで実質無償化を拡充

4-1

新たな課題等への対応

当初予算額

脱炭素社会の実現に向けた取組 [3当比+9.6億円]

12.4億円

- 太陽光・EVの
トータルでの普及策
- 脱炭素化戦略の策定



私立高等学校等学費補助の充実 [3当比皆増]

2.6億円
(拡充分)

【現状】

【4年度】

- ▶ 年収約700万円未満世帯の授業料実質無償化
- ▶ **多子世帯**は年収約**800万円**未満まで実質無償化を拡充

新たな課題等への対応
3当比 総額 +17.3億円

4-2

県民生活に直結する事業の推進		当初予算額
水防災戦略の推進	[計画比+24億円]	508億円
<ul style="list-style-type: none"> ○ 水害や土砂災害から県民のいのちと財産を守る <ul style="list-style-type: none"> ・ 急傾斜地崩壊対策の拡充 ・ 遊水地の整備や流路ボトルネック箇所解消 等 		
県立教育施設整備の推進	[3当比+21億円]	301億円
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新まなびや計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎耐震、老朽化対策 ・ トイレの洋式化 等 <p style="text-align: center;">※耐震化及びトイレの洋式化は5年度完了予定</p>		

5

安全・安心のためのインフラ等整備の加速化		
主な事業内容	4当予算額	3当比
①急傾斜地崩壊対策(県単)(水防災戦略に含む) ・ 整備対象約400件の完了期間：13年→7年に短縮	23億円	+10億円
②交通安全施設整備 ・ 交通信号機の更新期間：12年→7年に短縮 ・ 摩耗した道路標示を7年間重点整備(R4:568km[3当比+100km])	50億円	+9.5億円
③県有緑地等緊急防災対策(水防災戦略に含む) ・ 危険木伐採期間：8年→1年に短縮	4.3億円	+3.9億円
④県立学校の空調設備整備、屋上防水工事等 ・ 老朽化した施設設備を緊急的に重点整備	34.1億円	皆増

安全・安心のためのインフラ等整備の加速化

主な事業内容	4当予算額	3当比
①急傾斜地崩壊対策(県単)(水防災戦略に含む) ・整備対象約400件の完了期間：13年→7年に短縮	23億円	+10億円
②交通安全施設整備 ・交通信号機の更新期間：12年→7年に短縮 ・摩耗した	50億円	+9.5億円
③県有線 ・危険木伐採期間：8年→1年に短縮	4.3億円	+3.9億円
④県立学校の空調設備整備、屋上防水工事等 ・老朽化した施設設備を緊急的に重点整備	34.1億円	+34.1億円

**インフラ等整備の加速化
3当比 総額 +177.6億円**

R5~R10に向けて、3当比 +10億円 × 6か年 × 2事業 = **120億円**
→ 基金へ積み立て (将来の財源を担保) (①・②)

6-2

財源確保と活用

【主な財源確保】

3年度県税・地方譲与税の増額等	+1,230億円
-----------------	----------

【主な財源活用】

編成方針時の財源不足解消への活用	460億円
新たな課題や県民の安全・安心のためのインフラ等整備 (基金への積立120億円を含む)	200億円
財政健全化に向けた取組	
県債償還額の平準化による将来負担の軽減	250億円
財政調整基金※への積立	320億円

※4年当初予算編成前(見込) 300億円 → 編成後(見込) 620億円 …コロナ禍前の水準
(元年度末620億円)まで回復

1 会計別予算額

区分	令和4年度 当初予算額 A	令和3年度 当初予算額 B	前年度比 A / B
一般会計	2兆3,448億円	2兆 484億円	114.5%
特別会計	2兆1,162億円	2兆 474億円	103.4%
企業会計	1,574億円	1,493億円	105.4%
総計	4兆6,185億円	4兆2,452億円	108.8%

過去最大

過去最大

2 県税の内訳

区分	令和4年度 当初予算額 A	令和3年度 当初予算額 B	前年度比 A / B
個人県民税	3,447億円	3,277億円	105.2%
法人二税	3,081億円	2,598億円	118.6%
地方消費税	4,027億円	3,632億円	110.9%
その他	1,940億円	1,916億円	101.3%
合計	1兆2,496億円	1兆1,425億円	109.4%
実質収入額※	1兆1,128億円	9,748億円	114.2%

※県税・地方譲与税等から税交付金等を除いた額

3 性質別予算額

区 分	令和4年度 当初予算額 A	令和3年度 当初予算額 B	前年度比 A / B
義務的経費（構成比71.8%）	1兆6,834億円	1兆5,898億円	105.9%
人 件 費	5,069億円	5,113億円	99.1%
介護・医療・児童関係費	4,323億円	4,066億円	106.3%
公 債 費	3,570億円	3,164億円	112.8%
税 交 付 金 等	2,996億円	2,689億円	111.4%
維持・法令義務費等	873億円	863億円	101.2%
政策的経費（構成比28.2%）	6,614億円	4,585億円	144.2%
投 資 的 経 費	1,695億円	1,663億円	101.9%
そ の 他	4,494億円	2,494億円	180.1%
合 計	2兆3,448億円	2兆 484億円	114.5%

Kanagawa Prefectural Government

10

4 4年度の財源不足対策

○ 4年度の財源不足額

当初予算編成方針通知時点の財源不足	(A)	△850億円
その後の変動要素	(B)	+240億円
県税・地方譲与税の増（実質ベース）		+800億円
臨時財政対策債の減等		△620億円
新たな課題や安全・安心のためのインフラ等整備（4年度）		△80億円
その他（地方創生臨時交付金の活用・給与改定の影響等）		+140億円
計	(A + B)	△610億円

○ 財源不足対策

3年度からの財源活用【県税の増等1,230億円の活用】	(C)	+540億円
財源活用		+460億円
新たな課題や安全・安心のためのインフラ等整備（4年度）		+80億円
4年度財源確保	(D)	+70億円
事業見直し		+70億円
計	(C + D)	+610億円

Kanagawa Prefectural Government

※10億円単位で整理 11

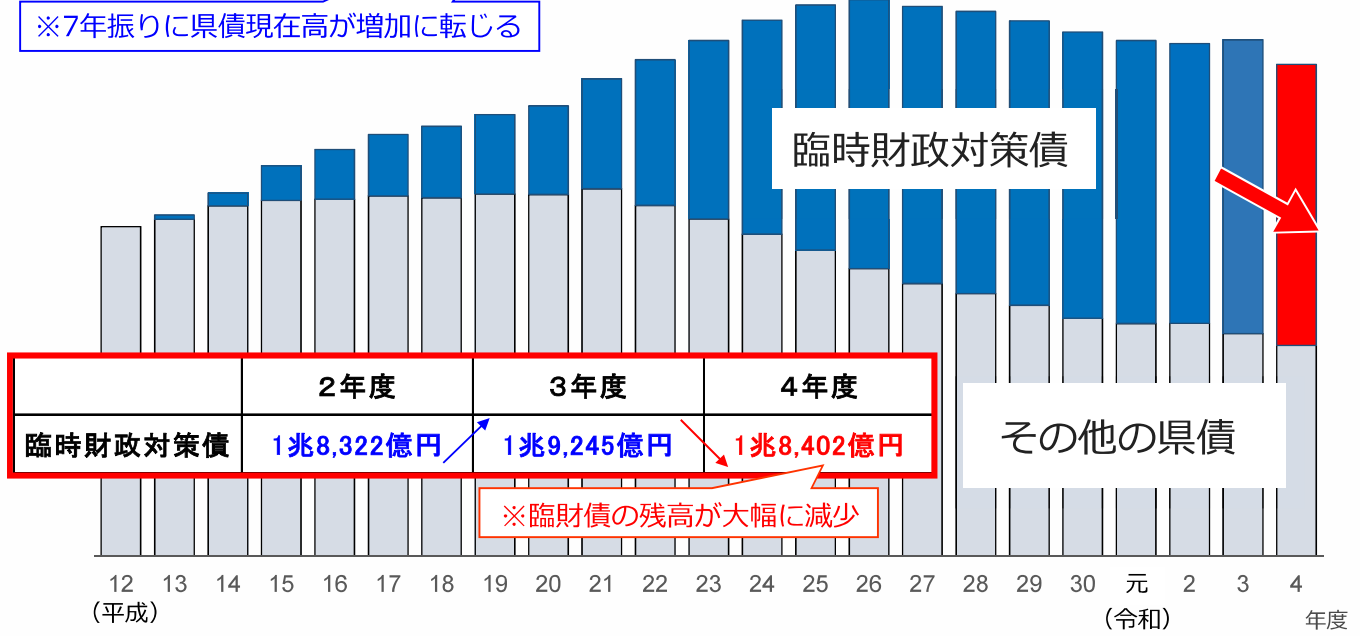
5 県債年度末現在高の推移

	2年度	3年度	4年度
県債現在高	3兆3,572億円	3兆3,817億円	3兆2,204億円

- 減少の主な要因
- ・ 税収増に伴う臨財債の発行予定額の減少
 - ・ 3年度地方交付税追加交付分の活用
 - ・ 県債償還額の平準化

※7年振りに県債現在高が増加に転じる

※2年度を下回る減少



	2年度	3年度	4年度
臨時財政対策債	1兆8,322億円	1兆9,245億円	1兆8,402億円

※臨財債の残高が大幅に減少

Kanagawa Prefectural Government



私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

4年度当初予算案 主な取組

新型コロナウイルス感染症対策

3,912億9,899万円

(4当：3,182億3,042万円、2補等：730億6,856万円)

感染拡大防止対策と医療提供体制の維持 3,246億9,380万円

(2補：386億1,373万円)

■ 感染拡大防止対策

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種促進
- ・ マスク飲食実施店認証制度の運用
- ・ 市町村への支援



■ 医療提供体制の維持

- ・ 病床の確保 (2,800床)
- ・ 宿泊療養施設の運営 (約3,800室)
- ・ 検査体制の維持、相談窓口の運営



宿泊療養施設

14

福祉サービスの提供体制の維持

29億1,501万円

(2補：1億 882万円)

■ 福祉サービスの提供体制への支援

- ・ 人員不足や代替サービスの提供等に対する補助

■ 介護人材の確保

- ・ 介護分野への就職者に対する貸付けに対する補助



15

■ 事業継続に向けた支援

- ・ ビジネスモデル転換に対する補助

■ 中小企業の資金繰り支援

- ・ 中小企業制度融資 ◇融資枠2,600億円
 ◇信用保証料引下げに対する補助

■ 需要喚起対策

- ・ キャッシュレス決済時のポイント還元
- ・ 商店街の活性化支援

■ 国内観光プロモーション

- ・ NHK大河ドラマ
「鎌倉殿の13人」の機会を
捉えた観光プロモーション



■ 就業支援

- ・ 合同就職面接会の開催
- ・ 就職氷河期世代を対象に実習型プログラムを提供

■ 働き方改革の推進

- ・ テレワークの導入経費補助

■ 住居確保給付金の支給

- ・ 休業等により住居を失うおそれがある方への給付金支給

■ ひとり親家庭支援

- ・ 経済的自立に向けた資格取得等を支援

学びの保障等

27億 2,392万円

(2補：8億2,471万円)

- 学校等での感染拡大防止対策用品の購入等
- 少人数学級の実施やスクール・サポート・スタッフ等の配置
 - ・ 小学校3年生の35人以下学級の実施
 - ・ スクール・サポート・スタッフの配置
 - ・ スクールカウンセラー等の配置
- オンライン学習のための通信環境整備
 - ・ 無線ルーターの貸出し及び通信料の負担
- 高校生等への就学支援
 - ・ 低所得世帯等に対する奨学給付金支給

医療従事者等の処遇改善

96億2,151万円

- 処遇改善のための支援
 - ・ 賃上げを行う事業者等に対する補助

18

コロナ禍における生活困窮者対策

6億9,233万円

子どもへの支援
4,365万円

- 子ども食堂への支援
- 県立高校での朝夕食の提供等（朝4校、夕14校）



子ども食堂

女性への支援
1億6,610万円

- 女性総合相談や訪問支援等の体制強化
- 全県立学校に生理用品を配備

孤独・孤立に陥っている方への支援
4億7,456万円

- ひきこもり当事者やケアリーバーへの支援体制の強化
- ケアラーへの相談窓口の開設や学習支援の実施

共助の推進に向けた仕組みづくり
800万円

- SDGsを道しるべとした「共助」の担い手となるNPO法人等の支援

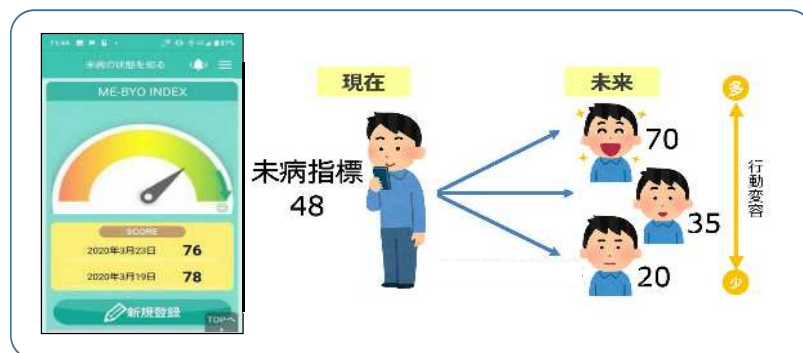
19

(1) 未病改善の取組及び地域医療体制の整備

253億8,466万円

未病改善の取組 7億 914万円

- 重症化リスクのある糖尿病の未病対策
- こころの健康に係る相談体制の強化
- 未病指標に未来予測機能を実装



地域医療体制の 整備充実 250億6,828万円

- 回復期病床への転換に対する補助

20

(2) 障がい・高齢福祉施策の推進

1,946億6,405万円

「当事者目線」 の新しい障がい 福祉の実現 2億9,754万円

- 県立施設利用者の生活の質を確保
- 県立施設利用者の地域生活移行支援
- 意思決定支援の普及・定着の推進
- 「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及

障がい者施策 の推進 757億 993万円

- 医療的ケア児の支援体制の充実強化
- 低出生体重児の育児を支援する
リトルベビーハンドブックの作成



高齢者支援施策 の推進 1,187億6,813万円

- ねんりんピックかながわ2022の開催

21

(3) 県内経済・産業の活性化

422億1,164万円

中小企業等の活性化と雇用環境の改善と成長産業の創出・育成
347億4,698万円

- 中小企業等の経営相談、助言等に対する補助
- ベンチャー企業の創出や成長支援

企業誘致などによる産業集積
21億3,895万円

- 企業立地の促進
・ セレクト神奈川NEXT



農林水産業の活性化
54億 834万円

- 豚熱対策の着実な実施
・ ワクチン接種の推進
・ 野生いのししの検査体制確保

22

(4) かながわスマートエネルギー計画等の推進

35億1,250万円

再生可能エネルギー等の導入促進
4億2,124万円

- 初期費用ゼロで事業所用／住宅用太陽光発電設備等を導入する事業への補助
- バーチャル・パワー・プラント（VPP）を形成する事業への補助

電動車の導入促進
6億5,350万円

- 電気自動車（EV）等の導入促進
・ EV等や急速充電設備、V2H導入への補助



神奈川らしい太陽光・EVのトータルでの普及策

脱炭素化に向けた戦略策定等
3,983万円

- 脱炭素化戦略の策定
- 県版脱炭素モデル地域設置に向けた取組

23

(5) 行ってみたい神奈川の魅力づくり

346億3,840万円

(4当：11億4,879万円、2補等：334億8,960万円)

観光資源の発掘・磨き上げ
4億1,000万円

- かながわシープロジェクト
 - ・海上交通実証実験
- スポーツツーリズムの推進
- マグネット・カルチャーの取組
 - ・共生共創事業やマグカル開放区
 - ・県営団地でのシニア合唱事業



海上交通イメージ

戦略的プロモーションの推進
3億6,628万円
(2補等：334億8,960万円)

- 「かながわ旅割」の実施
- NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の機会を捉えたプロモーション

受入環境の整備
3億1,283万円

- 観光通訳ガイドの育成及び認定
- ワークーションやDX整備への支援

24

(6) 安全で安心してくらせる神奈川の実現

1,323億7,160万円

(4当：1,291億3,540万円、2補：32億3,620万円)

地震災害対策の推進
1,033億6,866万円

- 実火災体験型消防訓練施設の整備
- 防災行政通信網の再整備

風水害対策の推進(水防災戦略)
475億8,074万円
(2補：32億3,620万円)

- 緊急的ハード対策
- 中長期的ハード対策
- ソフト対策

<水防災戦略>	
4年度計画額	484億円
4年度予算額 (3年度2補含む)	508億円
増減	+24億円

犯罪や事故などのない安全で安心なまちづくり
54億3,342万円

- 防犯カメラの設置補助
- 迷惑電話防止機能を有する機器への補助
- 交通安全施設の整備の加速化

<交通安全施設整備>	
3年度予算額	40.5億円
4年度予算額	50億円
増減	+9.5億円

25

(7) 子ども・子育てへの支援

1,494億4,865万円

子ども・子育て
支援の更なる充実
755億 286万円

- 保育士の確保・就業継続の支援
・ 地域限定保育士試験の実施

支援を必要とする
子ども・家庭
への取組
1,420億6,867万円

- SNSを活用した相談
・ 新たに対象者をケアラーや
医療的ケア児に拡大

私立高等学校等
生徒学費補助の
充実及び高等教育
の修学支援の
着実な実施
49億3,641万円

- 私立高等学校等に通う生徒の授業料等
の実質無償化の拡充
(年収約800万円未満の多子世帯※)
※子どもが3人以上いる世帯
- 高等教育(大学・専門学校)の修学支援
(授業料等の減免)の継続

26

(8) 県立高校改革等教育環境の整備の推進

408億9,934万円

(4当: 404億9,928万円、2補: 4億 5万円)

県立教育施設
整備の推進
348億4,065万円

- 新まなびや計画の推進
・ 県立学校における耐震・老朽化対策、
トイレ洋式化、
空調設備整備等
- 県立図書館の再整備等



県立図書館新棟

共生社会の実現
に向けた教育の
推進
14億2,317万円

- 県立特別支援学校の教育環境の充実
・ 新校等整備
・ 医療的ケア児等への支援
- 中学校夜間学級の運営支援

教員の働き方
改革の推進
26億3,512万円
(2補: 2億 709万円)

- 全市町村立小・中・特別支援学校
(政令市除く)へのスクール・
サポート・スタッフの継続配置

27

(9) 地域資源を生かした地域活性化とまちづくりの推進

43億8,736万円

地方創生の
推進に向けた地
域活性化の取組
1億6,967万円

- 三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進
 - ・ ウインドサーフィン
ワールドカップの開催支援
 - ・ 起業支援
- 県西地域活性化プロジェクトの推進
 - ・ 広域ワーケーションのモデル事業

魅力あふれる
まちづくり等
の推進
42億1,769万円

- 国際園芸博覧会の開催に向けた支援
- 神奈川東部方面線（相鉄・東急直通線）の整備促進



国際園芸博覧会会場イメージ



東部方面線 新横浜駅（工事中）

28

SDGsの取組の推進

1億 342万円

SDGsの取組
の推進
1億 342万円

- SDGsつながりポイント
- SDGsアクションの促進



アクション例（フードドライブ）



私たちが一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs未来都市 神奈川県

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

11億2,554万円

ヘルスケア・
ニューフロン
ティアの推進
11億2,554万円

- 未病指標に未来予測機能を実装
- 最先端技術の研究開発
 - ・ 再生医療や脳梗塞等に係る研究、実証

29

デジタルを活用した取組の推進

7億5,529万円

神奈川県らしい DXの推進 2億6,404万円

- データ統合連携基盤の構築
 - ・ 新型コロナ対策や防災分野への活用
- 行政手続のオンライン化の推進
- ドローンを活用した取組
 - ・ 不法投棄のスカイパトロール
 - ・ 県営水道施設の点検
 - ・ 農業技術の開発

デジタルを活用 した新しい働き 方や生活様式の 実現 4億9,125万円

- 感染症対策ロボットの開発支援



感染症対策ロボット例
(搬送アシストロボット)

30

2月補正予算（その2）の主な内容

359億 500万円

国の「令和3年度補正予算（第1号）」等への対応

- | | |
|--|-------------|
| ○ 学校等における感染症対策 | 8億2,471万円 |
| ○ 不妊に悩む方への特定治療の支援 | 28億4,210万円 |
| ○ かながわ旅割実施事業費 | 241億7,311万円 |
| ○ 県立学校等の教育環境整備
・ G I G Aスクール運営支援センターの開設 | 4億 5万円 |
| ○ 震度情報ネットワークシステムの更新 | 3億9,513万円 |
| ○ 公共工事の追加 | 66億5,105万円 |

31

「いのち」と「暮らし」を守り、新しい日常へ

- 医療提供体制の維持と経済の回復に向けた施策を展開
- コロナ禍で顕在化した生活困窮者対策の推進や医療的ケア児等への支援といった新たな課題への対応
- 県民生活に直結する水防災戦略や県立教育施設、交通安全施設等の整備の推進



32



令和4年第1回県議会定例会 条例案等の概要

【条例案等の内訳】

区 分	令和4年度関係	令和3年度関係	計
条 例 の 改 正	17件	9件	26件
工事請負契約の締結	—	4件	4件
市 町 負 担 金	1件	2件	3件
そ の 他	1件	2件	3件
計	19件	17件	36件

神奈川県道路交通法関係手数料条例の一部を改正する条例

1 目的

- 高齢運転者対策の充実・強化などを規定した道路交通法の一部改正等に伴い、運転免許に関する手数料について、所要の改正を行うもの。

2 主な改正内容

(1) 高齢運転者対策の充実・強化

- 運転技能検査の新設（一定の違反歴がある75歳以上の高齢者が受検）
- 高齢者講習の区分等の見直し

(2) 第二種免許等の受験資格の見直し

- 若年運転者講習の新設

【主な改正手数料案】

手数料の名称	区分	改正後	現行	備考
運転技能検査		3,550円	—	新設
高齢者講習	2時間	—	5,100円	
	3時間	—	7,950円	
	実車あり	6,450円	—	区分の見直し
	実車なし	2,900円	—	
若年運転者講習		1時間につき 2,250円	—	新設